

学年	3 学年	実施期間	6 月 2 2 日 (月) ~ 6 月 2 6 日 (金)
----	------	------	-------------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	現代文 B	言葉について	語句の知識を増やし、それぞれのテーマについて考える。	(前回と同様)「キーワード」35 (神話/タブー) ~ 40 (分断社会) を勉強しておくこと。	・定期テスト
	古典 B	近世の小説を読む。	『大晦日は合はぬ算用』を読解する。 作品の理解について見通しをつけて計画的に学習する。	○古典文学・近代(江戸時代)文学に触れ、その価値観や美観を知る。 ○ホームページ及びGoogle Classroom に掲載のプリントに取り組み、作品の理解を深める。	提出したプリントから、「読む力」の観点評価をする。小テストの実施もあり得る。
	国語表現	言葉遊びと創作	言葉への感覚を養い、言葉のセンスを磨く	国語表現演習ノート p 38-39 を完成させる。	・提出物で評価する。(関心・意欲・態度、書く能力) ・授業での観察・小テストで評価する。
地理歴史	世界史研究	○環大西洋革命と パクス=ブリタニカ  振り返り学習 4	○19世紀前半におけるいわゆる「反動の時代」について、現代に生きる市民としての視点から考察する。  ○この単元で習得した歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を確実なものにする。	○これまでの課題学習の成果を振り返り、19世紀前半におけるいわゆる「反動の時代」について、現代の視点から評価できる点と問題点について考察する。  ○すでに配布してある「まとめプリント」を利用して、歴史用語の知識を確実なものにする。  ◎G Suite の家庭学習と振り返り学習で浮かんだ疑問点等を G Suite のストリーム上でみんなに発信する。  *詳細は、G Suite の指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
	日本史研究	幕藩体制の動揺と幕政の改革 欧米列強の接近と天保の改革 江戸中・後期の文化	・享保の改革、田沼意次による改革、寛政の改革、それぞれの改革の特色について諸資料を基に考察し理解する。 ・欧米諸国のアジア進出による世界情勢の変化や幕府の対処から幕藩体制が動揺していく過程を理解し考察する。 ・江戸中・後期の文化、化政文化について、理解する。	プリント課題に取り組み。 ※課題のプリントはclassroomにあげるので確認してください。 ※この内容はすでにワークで取り組んでいるので、復習としてプリントを使用してください。 ※課題は授業時に確認するものと、classroomで提出するものがあるので、コメントを確認して対応してください。	・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、諸資料を適切に活用し考察している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)(思考・判断・表現)
	地理 B	世界の地形	・火山と地震の活動について理解する。	教科書の P 3 2 ~ 3 3 を読み、火山や地震の活動が人間生活に与える影響を日本の自然災害の例をあげてレポート 2 枚以上にまとめなさい。	学習の目標にある事項内容について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)(思考・判断・表現)
公民	政治経済	日本国憲法の基本的性格	民主政治における、政治参加の重要性と民主社会で生きる倫理についての自覚を深める。	教科書 P 3 4 の時事 2 の沖縄と基地のコラムを読み、憲法第 9 条の平和主義を踏まえながら、沖縄の基地問題についての自己の見解を 2 枚以上のレポートにまとめなさい。	レポートの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・思考・表現・資料活用)の技能・知識・理解)
	現代社会研究	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加	民主政治における個人と国家について考察し、政治参加の重要性と民主社会で生きる倫理についての自覚を深める。	教科書、資料集にある社会契約説について記述をよく読んでおきましょう。	・積極的・主体的に課題にとりくんでいる。 ・社会契約説についての大枠が理解できている。

数学	数学Ⅲ	関数の性質 数列・級数の極限 関数の極限 関数の連続性	○分数関数、無理関数、逆関数、合成関数について理解する。 ○数列、級数の収束・発散について理解する。 ○関数の極限の性質について理解し、基本的な関数の極限を調べることができる。 ○関数の連続性及び中間値の定理について理解する。	WR I T E 数学Ⅲ P 4 6～P 7 7の間をノート類に解くこと。 第3章小テスト実施日に提出すること。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	数学応用研究	数と式 図形と方程式 いろいろな関数 微分法・積分法	○数と式、図形と方程式、いろいろな関数、微分法・積分法の発展的な問題を解くことができる。	『リンク数学演習1A+2B』P 8 8～P 1 0 5の練習2 3～4 0を解答する。 (前回から継続)	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	理系数学研究	I・A+II・B basic	○数学I・A・II・Bの応用問題の解き方をみにつける	リンク数学演習I・A+II・B の今までの間を解く。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
理科	生物	情報の統合 刺激への反応	受容器で受け取られた刺激(情報)が、神経系を介して、効果器へと至る経路を学習する。効果器に関しては筋肉を中心に上げ、その構造を理解する。	問題集「リードα生物」P148の問題131と132に取り組み、ノートまたはルーズリーフに解答を記入して提出すること。	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
	生物研究	代謝	代謝におけるATPの役割、呼吸や光合成においては各過程の反応を学習し、理解する。	問題集「リードα生物」P48の問題に取り組み、ノートまたはルーズリーフに解答を記入して提出すること。	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
	物理研究				
	化学研究	○化学平衡 ・可逆反応と化学平衡 ・化学平衡の移動 ・電離平衡	○可逆反応と化学平衡についてその関係を理解し、平衡の移動とその原理および条件変化に伴う移動についても理解する。	○授業中に出された課題に取り組む。 ○これまでの課題の最終締切は過ぎていますが、提出する気がある者は直接新倉まで持参するように。	○前週までの評価基準をもとにプリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
保健体育	体育	スポーツをめぐる現状や今後の課題について	スポーツをめぐる現状と今後の課題について、コロナの影響による問題や近年話題となっている事柄を取り上げ、それについての自分の考えをまとめる。 (先週から継続)	【先週の課題を継続して取り組む】 (大会中止について、または、eスポーツについてのレポート)	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・スポーツの現状や課題について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・スポーツの現状や課題について、書き出すことができる。(知識・理解)
芸術	音楽総合				提出：6月29日以降提出
	美術総合	○美術鑑賞	○古今東西の美術作品鑑賞を通して人間の社会・個人の多様性や精神世界に触れると共に美術を特別なものではなく身近な存在の文化であることを認識する。	6.15～6.19に提示した課題に引き続き取り組んでください。 ※訂正1件：前回示した「レポート用紙(A4またはA5)使用」は、「A4またはB5」の誤りです。失礼しました。	6.15～6.19に提示した課題どおり

外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	前回と同様			
	英語表現Ⅱ	なし			
	英語会話	分野別10min. (プリント) 第7回から第9回	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、 情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解 することができる。	分野別10min. の第7回から第9回までをCDを聴い て解答を書き、7月7日の授業時に提出すること。 プリントは6月23日の授業時に配布します。氏名 等を記入して提出すること。	課題内容について ・CDの音声を正確に聴き取れているか (技能) ・正確なスペルで解答が書けているか。(知識・ 理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか (関心・意 欲・態度)
	英文読解	Intro1~Section4までの復習	○問題解答を中心に、英文の内容把握に積極的に 取り組み、学んだ知識を活かしつつ体系的に英文 を理解する。 ○テーマに関する内容や知識に自ら興味を持って 理解を深める。 ○授業の復習として、理解の難しかった箇所を整 理する。緩急をつけた読みにトライする。	6/19(金) の授業で学んだことを、もう1度英文を 読むことで復習してください。返却された課題と 添付の「解答と解説」も利用してください。 *予告した小テスト (Intro1~3の単語・本文内容 把握・Scramble語彙) の勉強も少しずつ進めてく ださい。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準によ り評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・課題に熱心に取り組み、主体的に学習する姿勢 を示している。(関心・意欲・態度) ・英文の概要を把握できる。(理解) ・テーマに関心を持ち、言語や文化等についての 理解を深めようとする。(知識・理解)
	英語語法理解				
家庭	子供の発達 と保育				
情報	社会と情報				
総合的な探究の時間					